

平成 30 年度第 2 回 伊勢市子ども家庭支援ネットワーク委員会議 議事録（要旨）

開催日時 平成 30 年 11 月 15 日（木）午後 1 時 30 分～3 時 15 分

開催場所 三重県伊勢庁舎 101 会議室

出席委員 奥田治会長、村上洋子副会長、中森忠司委員、中井健治委員、中井眞知子委員、山崎幸喜委員、岩佐香委員、濱口基久委員、伊寿秀夫委員、鎌田尚樹委員、田口昇委員、藤田典子委員、高村貞子委員、籠谷芳行委員、濱口憲子委員、岡村昭委員、久米邦明委員、岡村豊委員、山吉秀樹委員、射場俊夫委員、上野尚委員、泰道詞子委員

欠席委員 秋山則子委員

事務局 健康福祉部参事、こども課長、こども家庭相談センター長、外 1 名

傍聴者 1 名

1 あいさつ

○会長

10 月に開催した児童虐待防止研修会には 100 人を超える参加があった。また、11 月は「児童虐待防止推進月間」であり、街頭啓発をミタス伊勢とイオン伊勢店の 2 ヶ所で実施したところである。イオン伊勢店では小雨が降る中での啓発となったが、啓発に参加していただいた方々に感謝申し上げる。

本日の会場の県伊勢庁舎には、児童虐待防止の懸垂幕が設置してあるので、また皆さんご覧いただければと思う。

今年度最後となる委員会議であり、委員各位は活発な議論をお願いする。

2 報告・協議事項

(1) 子ども家庭支援ネットワーク上半期活動実績について

- 事務局より、4 月～9 月の児童相談及び女性相談の受付状況、ネットワーク活動の報告。

【各委員主な意見】

○副会長

南勢志摩児童相談所が受理した虐待相談件数は、伊勢市は 98 件あり南勢志摩管内では 186 件と昨年度よりも多い。中高生本人からの虐待の訴えで帰宅したくない場合には、親子関係の調整など対応している。

虐待防止啓発の効果か判然としないが 11 月の虐待相談が多かった。

○会長

要対協で管理するケースの中で、発達障がい等に関わるケースはどの程度あるのか。

○委員

発達支援で相談しているケースも数件あるが、要対協で管理する全ケースの一部である。

こども発達支援室での相談は、0 歳から 18 歳までを対象としているが就学前児童や小学

生の相談が多い。

○委員

児童相談の受付ケースで、他市町村から伊勢市に転入するケースはあるのか。またその数は多いのか。

●事務局

他市の福祉事務所等から転出に伴う情報提供や移管ケースはあるが多くはない。

○委員

要対協で管理するケース数は、平成 28 年度 213 件、平成 29 年度 240 件、平成 30 年度（9 月末時点）269 件と増加しているが、今後の見通しとしては増加するものか。

●事務局

大幅な増加ではなく、今後も微増していくものと想定される。

○委員

子どもへの支援も重要であるが、親への支援が必要であると感じる。虐待は、親だけの責任ではなく地域の問題として捉えるべきである。

○委員

施設入所児童の 3 分の 2 は被虐待児である。入所児童の親と接するが、親としての自覚不足を痛感する。大人になるまでの親教育が足りていない。虐待防止は、地域力を上げることと親教育を行うことが必要である。

(2) 「児童虐待防止推進月間」における活動について

●事務局より、11 月の「児童虐待防止推進月間」の広報・啓発活動を報告。

【各委員主な意見】

○会長

啓発活動は定着してきたと思う。今後も活動に協力願いたい。

(3) 子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について

●事務局より、検証結果（第 14 次報告）及び検証結果（目黒虐待死事例）を説明。

【各委員主な意見】

○副会長

目黒区の虐待死事案の検証を踏まえて、児相間の情報共有を徹底することが決まった。ケースが転居した場合、転居時点において要対協で再度リスクアセスメントし、保護者や子どもの支援を検討することが義務付けられた。ケース移管は、必ず保護者の同意を得て移管先の児相が移管元の児相と同行訪問を実施することとなった。

(4) その他

●事務局より、「居住実態が把握できない児童」に関する調査結果について報告。

平成 29 年度「居住実態が把握できない児童」に関する調査結果が公表された。同調査は平成 26 年度から開始され、今年度も同様の調査がある。

【各委員主な意見】

○会長

伊勢市でも以前までに 7 名の居住不明児童がいたが、全員の所在確認ができた。今後も同調査に実施にあたり、関係機関の協力をお願いする。

●事務局より、里親制度の普及啓発活動について報告。

10 月の里親月間に広報啓発を図り、11 月 10 日に里親説明会を開催した（参加者 38 人）。里親制度の普及に向けて今後も協力をお願いしたい。

【各委員主な意見】

○なし

●事務局より、平成 30 年度版「伊勢市の子育てハンドブック」について報告。

【各委員主な意見】

○委員

一冊に情報をまとめてあるが、支援が届きにくい方には複雑すぎて分かりづらい一面がある。

●事務局

掲載内容を今後検討したい。

●事務局より、子どもの家庭養育推進官民協議会について報告。

子どもが愛情豊かな家庭環境で育つことを目指し、養子縁組・里親委託の推進等を官民が協働で取り組むため、平成 28 年 4 月 4 日（養子の日）に設立された。平成 29 年に伊勢市も加盟した。